熊本県と県から業務を委託された熊本大学医学部附属病院が協力して機構の運営を行った。今年度は始まって早々の熊本地震により、未曽有の大災害が発生した。このような状況のため、本来の業務として5月に予定していた熊本県地域医療支援機構講演会も、やむなく中止せざるを得なくなったし、様々な面で業務への影響が生じた。

資料1

　しかしながら、被災した病院等もある中で、知事指定病院等の協力を得て修学資金貸与医師の勤務が予定される36病院等の実情調査を行い、報告書をまとめた。また、キャリア支援制度への登録の推進やキャリア支援調整会議による卒後3年目の医師への支援等も実施してきた。更には、「もう一度臨床へ支援事業（女性医師の復職支援事業）」も熊本県から新たに委託を受けて復職支援コーディネーターを配置するなど、震災にも関わらず本来業務に積極的に取り組んだ。

平成28年度の主な事業の実績は以下の通り。

**１　県内における医師不足の状況等の把握・分析**

**・知事指定病院における地域医療及び勤務環境の現況調査**

**36ヶ所の知事指定病院にアンケート調査を実施　回答結果を纏め、冊子を作成。**

**・県内自治体における医師修学資金貸与制度導入状況ヒアリング調査**

**荒尾市民病院、公立玉名中央病院、山鹿市民医療センター、天草市**

**２　医師不足医療機関の支援**

**・水俣市立総合医療センター、小国公立病院に医師を派遣**

**・教育支援システムの普及活動・現地調査（テレビ会議システム、今日の臨床サポート等）**

**テレビ会議システムを御所浦診療所、湯島へき地診療所、そよう病院に配備。**

**・地域医療・総合診療実践教育玉名拠点の支援**

**指導医派遣、テレビ会議システムによる研修医指導等**

**３　地域医療に従事する医師のキャリア形成支援**

**・知事が指定する病院等指定及び区分、配置ローテーションルールの周知**

**評議員、関係医療機関、医師修学資金貸与学生・医師等関係者への周知を図った。**

**・修学資金貸与医師キャリア支援連絡調整会議の開催**

**3月21日に開催し、卒後2年目の3名の配置について確認。**

**・地域医療を志す医学生及び地域医療に従事する医師を支援する制度（登録制度）の運営**

**医師修学資金貸与学生・医師、自治医科大学生等の登録を実施。**

**・修学資金貸与学生・医師全員の面接**

**平成28年8月から10月にかけて、学生48名、医師8名の面談を実施。**

**・地域医療研修システム連絡調整部会の開催（１回）**

**2月23日に「今後の地域医療研修システムのあり方について」協議。**

**・「今日の臨床サポート」及び「プロシージャーズコンサルト」の管理　運営**

**今日の臨床サポート等を特別臨床実習や、研修医、指導医、自治医科大生等47名にID,パスワードを配布し活用。（アクセス数3万件）**

**４　医師に関する求人・求職等の情報発信**

**・ホームページの医師や学生向け求人情報や相談コーナーにおける情報発信**

**・学会やセミナー等の際に個別に説明会、リクルートを実施**

**日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（6月11、12日開催）におけるブース設置等。**

**５　県内外の医師、医学生からの相談対応**

**・機構の専任医師等が個別に相談対応**

**・熊本で地域医療を目指す医師のメールアドレスの収集**

**６　女性医師等の就業継続及び復職支援**

**・男女共同参画女性医師支援セミナー開催**

平成28年12月7日、クローバーセミナー開催

テーマ：「働き続けるモチベーション」

**・冊子クローバーの発行**

**勤務環境関係及び復職支援関係の2種類**

**・復職支援コーディネーターの配置による復職支援**

**・女性医師支援に関する情報収集**

**勤務環境アンケート等実施**

**・女性医師キャリア支援センターの情報発信**

**ホームページリニュアル**

**７　その他、支援機構の設置目的を達成するために必要な事業**

**・地域医療支援機構講演会の開催**

**平成29年3月4日機構講演会開催**

**テーマ：「熊本県のこれからの地域医療の方向性を見据える」**

**・機構ホームページの維持管理**

**・メールマガジンの発信**

**講演会の案内等19回発信**